



第 44 号

2021年

4月発行

慈英病院広報誌

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します。

当院でのコロナウイルス感染対策について

昨今変異ウイルスによる感染も増加し今も尚「新型コロナウイルス」の脅威は続いています
全世界で1億4143万8278人以上の感染者と302万0688人以上の死亡者
国内では53万7826人以上の感染者と9679人以上の死亡者
県内では2049人以上の感染者と22人以上の死亡者
が令和 3年 4月 20日現在で報告されています

そこで当院では、昨年度の経験を教訓とし、更なる感染予防として、マスク・手洗いはもちろんのこと定期的に換気を行い、食事中の会話をさけ、ソーシャルディスタンスを保ち、使用物品やベッド柵・ドアノブの消毒など日々心がけています

面会についてもまだ当院では禁止していますが、状況がもう少し落ち着いてから判断する予定です

全世界でワクチン接種が始まり、当院でも4月20日から職員、4月26日から高齢者の方の接種が順次始まりました ワクチンの副反応としては発熱、注射部位の腫脹、倦怠感、筋肉痛、関節痛、頭痛、まれにアナフィラキシーショックがあげられていますが、報告としては極少数であり有効性は高いようです
ご希望の方は無料ですので予約をされて受診してください

ワクチン接種や皆様の感染予防により新型コロナウイルス感染症が終息に向かうことを切に願います

職員のワクチン接種風景

防御態勢（アクリル板を設置しました）



介護保険認定調査時の感染対策

手指消毒



患者さんご家族のコロナ禍での交流

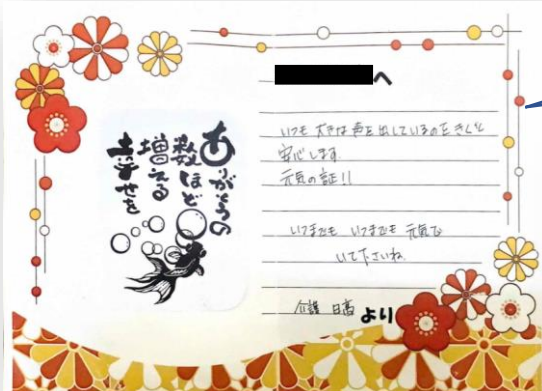


コロナ禍でも、感染対策をしっかりと行い、楽しく節分の写真が撮れました!!!

みなさん笑顔が素敵です!

その他にも、敬老会やクリスマスでは、ご家族の方とメッセージカードの交換をさせて頂きました。家族に会えない中とても喜ばれていました。協力して頂きました御家族の皆様、ありがとうございました。今後、コロナの状況を見ながらこれからもいろいろなイベントを行なっていく予定です。

敬老会メッセージカード



クリスマスメッセージカード



春❀お花見献立



4月7日(水)はお花見行事食をしました♪
・桜ちらし寿司 ・鰯の塩焼き ・お花の清汁 ・いちご



★春の訪れを告げる「菜の花」★

お浸しやからし和え、ちらし寿司の具材など野菜として使われています。菜の花は栄養価が高く調理するときに油で炒めて、油脂と一緒に食べることでカロテンの吸収率を高めることができます。菜の花の選び方は、軸の切り口がみずみずしく、中心部まで緑色のものがより新鮮で、中心部が白い色は老化しているものが多いです。

菜の花の保存方法は、その日に食べない分は、水で湿らせたキッチンペーパーで全体をゆるく巻き、さらにラップで包んで花の方を上にして野菜室に入れることで長く保つことが出来ます。春を感じる献立として、食用の桜を使ってちらし寿司を作りピンク色の酢飯も良いのではないのでしょうか(*^^)

管理栄養士 濱田靖子より

通所リハでも丸めた新聞紙を互がわりに豆まきしました！
ご利用者の皆さんも真剣で、鬼はタジタジでした！



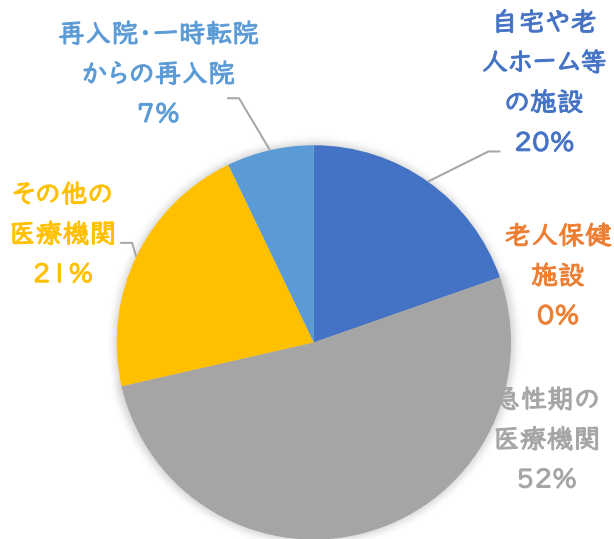
鬼のお面が似合っています♪



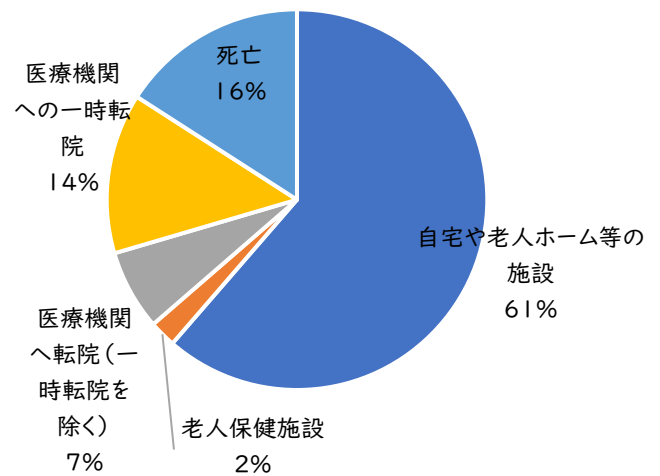
鬼は外！！

クリニカルインディケーター 2021 年（令和 3 年）

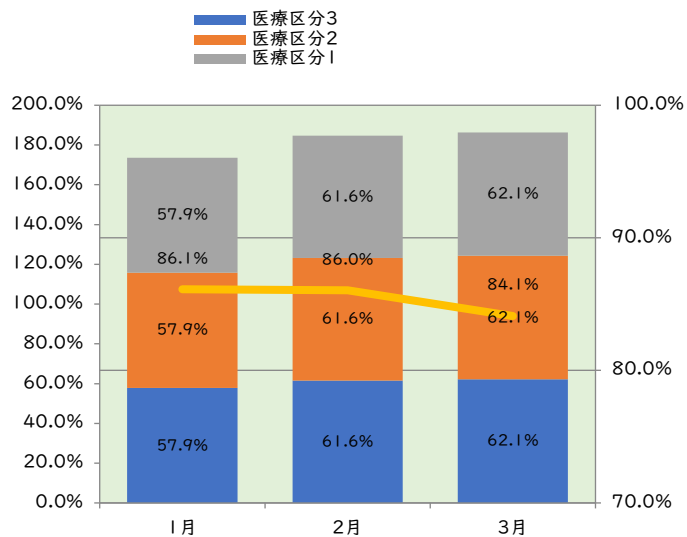
前方連携の状況（令和 3 年）1～3 月 n=56



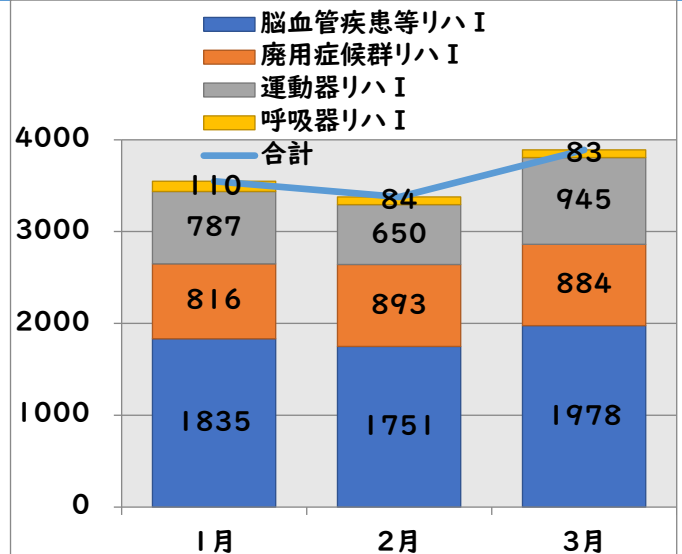
後方連携の状況（令和 3 年）1～3 月 n=44



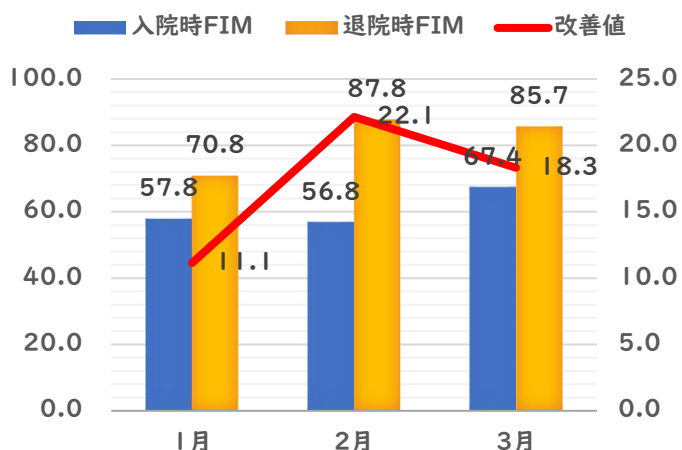
医療区分（＊1）別入院患者の割合（令和 3 年）



疾患別リハビリテーション（＊2）実施単位数（令和 3 年）



軽快退院患者における FIM（＊3）改善値（令和 3 年）



（参考）グラフ内の用語説明

＊1「医療区分」

医療療養病床に入院された患者様の入院基本料において、医療の必要度を3段階で表したものです。

「医療区分1・2・3」と、数が多くなるほど医療が必要となります。

例えば、中心静脈栄養、呼吸器装着、指定難病、24時間の観察が必要な患者様は、医療区分3となります。

＊2「疾患別リハビリテーション」

主となるリハビリの治療内容に応じて医師が判断して行います。1単位は20分です。

＊3「FIM」

世界共通のADL（日常生活動作）評価表です。指標として110点以上で介助に必要な時間は0分です。点数が低くなるほど、介助に必要な時間は長くなります。最低18点、最高126点です。